



アルフレッサ ホールディングス株式会社

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

株主のみなさまへ

2015年3月期

第2四半期報告書

(2014年4月～2014年9月)

証券コード 2784

株主のみなさまへ



代表取締役社長

石井 晴六

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2015年3月期第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた政府の経済政策により緩やかな回復を基調とするものの、消費税率引き上げに伴う需要の反動減に加えて、急激な為替変動や今夏の天候不順等による物価上昇が消費を下押ししたこと等により、前年同期と比較して成長率は鈍化いたしました。

医療用医薬品市場におきましては、今春の診療報酬改定により薬価が平均2.65%引き下げられた影響に加えて、後発医薬品調剤体制加算制度の改定や、DPC制度導入先医療機関における使用薬剤の見直しによって、後発医薬品への切り替えが進み長期収載品の売上が減少いたしました。さらに、消費税率引き上げによる需要の反動減や今夏の天候不順により、受診抑制もみられました。

これらの結果、当該期間の市場は3.4%のマイナス成長となりました。

このような状況の下、アルフレッサグループは企業価値の増大に向けて、「13-15中期経営計画変革への挑戦～次なる頂^{いただき}を目指して～」に掲げた経営目標を達成するための取り組みを引き続き強化しております。

医療用医薬品等卸売事業におきましては、業界の最重要課題である「流通改革」を推進し、早い段階から仮納入・長期未妥結の是正等に取り組むとともに、事業基盤のより一層の強化とお得意様へのサービス向上を進めてまいりました。

セルフメディケーション卸売事業におきましては、一部の商品で消費税率引き上げに伴う需要の反動減がありましたが、利益率の高い専売商品へ販売を注力することにより、安定的な利益の確保に努めました。

医薬品等製造事業におきましては、アルフレッサファーマ株式会社が製造設備の増強による高品質な製品供給機能のさらなる強化を推進するとともに、製品ラインナップを拡充し、製造事業の規模拡大と収益基盤の強化を図りました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は1兆1,739億94百万円(前年同期比3.9%減)、営業利益は94億78百万円(前年同期比22.1%減)、経常利益は142億18百万円(前年同期比14.8%減)、四半期純利益は92億4百万円(前年同期比5.4%減)となりました。

アルフレッサグループは、ヘルスケアコンソーシアムの実現に向けて引き続き積極的な取り組みを続けてまいります。

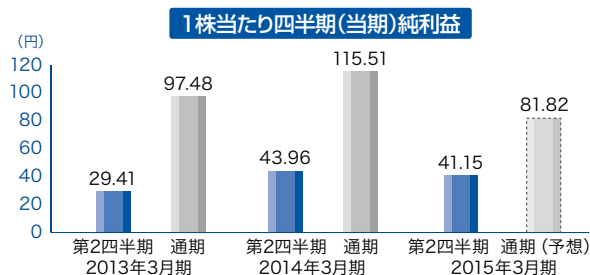
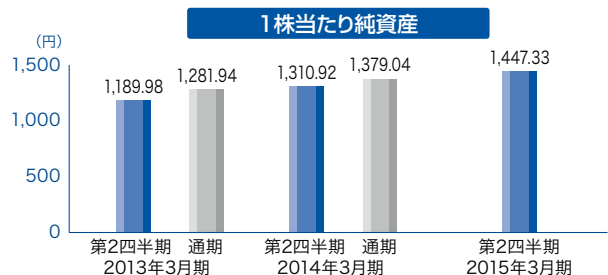
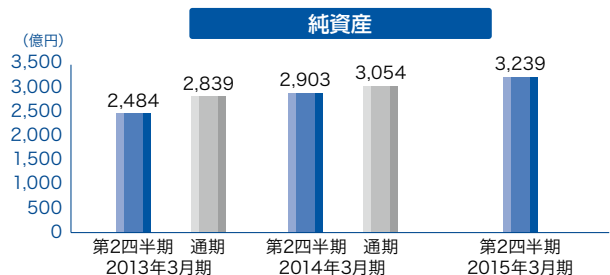
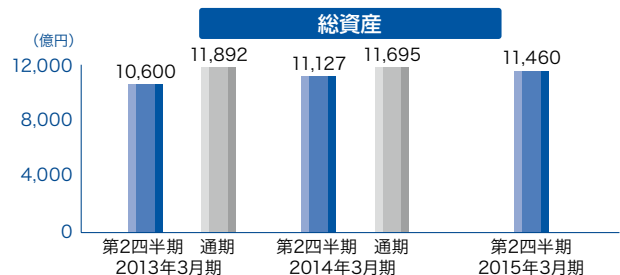
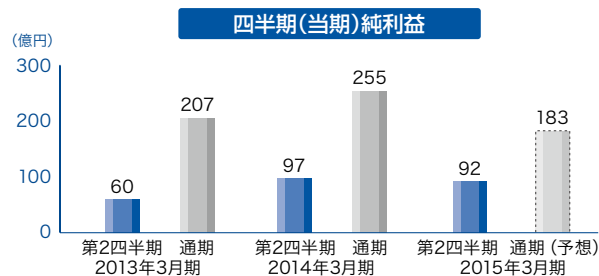
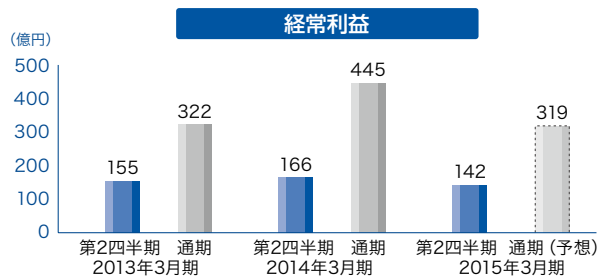
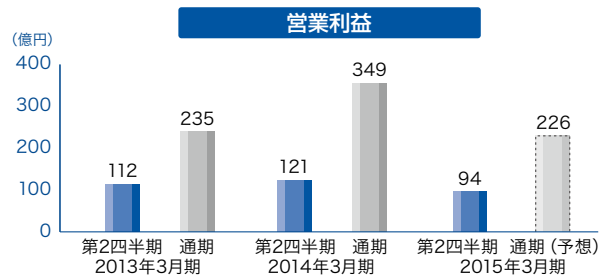
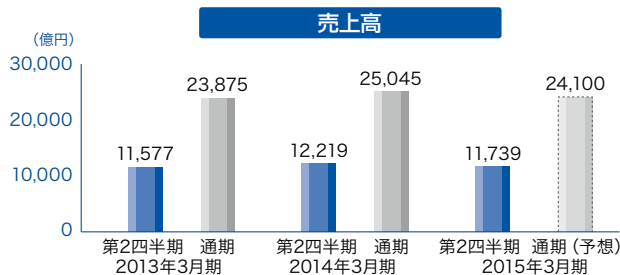
株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

目次	1 株主のみなさまへ
	3 当第2四半期(累計)の業績
	5 特集 前進を続けるアルフレッサグループ

9 第2四半期(累計)連結財務諸表(概要)
13 株式情報
14 会社概要／配当について

当第2四半期(累計)の業績

連結業績ハイライト



※2014年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2013年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し1株当たり純資産および四半期(当期)純利益を算定しております。

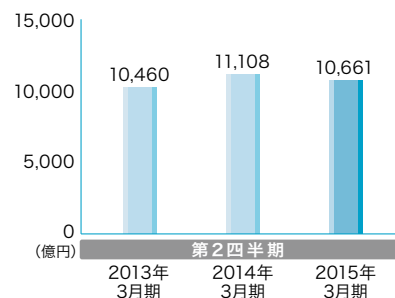
事業別の業績

医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品等卸売事業におきましては、引き続き医薬品の流通改革を推進してまいりました。また、経営資源を有効活用するために、成和産業株式会社と常盤薬品株式会社を来年4月に合併することといたしました。さらに、ワクチン安全管理株式会社を本年8月に設立し、予防接種管理システムの提供を開始いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は1兆661億99百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益87億53百万円（前年同期比22.3%減）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高30百万円（前年同期比31.0%増）を含んでおります。

売上高（医療用医薬品等卸売事業）

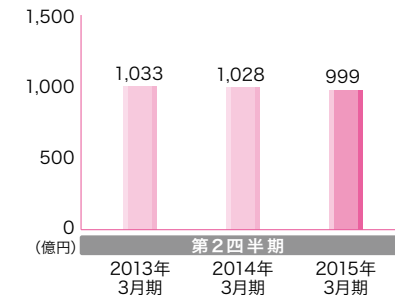


セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、一部の商品で消費税率引き上げに伴う需要の反動減がありましたが、利益率の高い専売商品へ販売を注力することにより、安定的な利益確保に努めました。また、アルフレッサ ヘルスケア株式会社が株式会社マツモトキヨシホールディングス傘下の株式会社茂木薬品商会の全株式を取得して、本年10月1日に完全子会社化いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は999億45百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益1億円（前年同期比384.8%増）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高2億54百万円（前年同期比13.9%減）を含んでおります。

売上高（セルフメディケーション卸売事業）

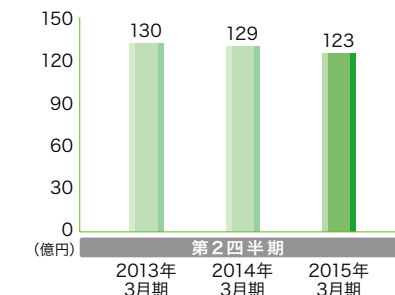


医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、今春の薬価引き下げと消費税率引き上げに伴う需要の反動減の影響等を受けて、売上高が減少いたしました。本年7月には、アルフレッサ ファーマ株式会社が来年4月に第一三共プロファーマ株式会社の秋田工場を譲り受けることについて基本合意いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は123億39百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益5億53百万円（前年同期比28.6%減）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高42億5百万円（前年同期比6.0%減）を含んでおります。

売上高（医薬品等製造事業）



2013年4月よりスタートした中期経営計画

「13-15中期経営計画 変革への挑戦 ～次なる頂を目指して～」の2年目において、各テーマの取り組みを積極的に推進し、事業基盤の強化を図っております。

完全子会社間の合併に関する 基本合意書締結

アルフレッサグループは、中期経営計画において、医療用医薬品卸売事業の次なるステージを目指すことを事業方針として掲げております。

このような状況の下、当社の完全子会社で、中国エリアにおいて医療用医薬品等卸売事業を行う成和産業株式会社と、中国エリアおよび北部九州エリアにおいて医療用医薬品等卸売事業を行う常盤薬品株式会社を合併することとし、2014年7月に合併に関する基本合意書を締結いたしました。同年12月に合併契約を締結し、2015年4月1日を効力発生日として合併する予定です。

本合併により、両社の経営資源を有効かつ効率的に活用することによって、地域に密着した営業基盤のさらなる強化を図ってまいります。

両社の経営資源を有効かつ効率的に活用

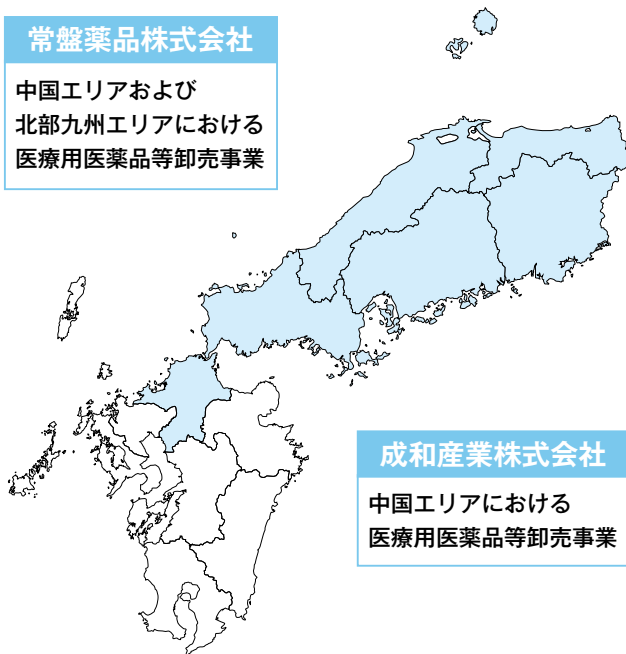
地域に密着した営業基盤のさらなる強化

常盤薬品株式会社

中国エリアおよび
北部九州エリアにおける
医療用医薬品等卸売事業

成和産業株式会社

中国エリアにおける
医療用医薬品等卸売事業



アルフレッサ(株)が

予防接種管理システムの提供および運営を事業とする新会社を設立

2014年8月にアルフレッサ株式会社は、予防接種管理システムである「ワクチンスケジューリングシステム」の提供および運営を事業とする「ワクチン安全管理株式会社」を設立し、当該システムのご提供を開始いたしました。

このシステムは、乳幼児のワクチン接種予定の情報を、医療機関と乳幼児の保護者の間とで随時共有することを可能にしています。

これにより、乳幼児の保護者や医療機関等のシステム利用者の利便性および乳幼児のワクチン接種における安全性向上に貢献してまいります。

ワクチンスケジューリングシステム

医療機関向け

- 乳幼児の予防接種スケジュール管理
- 予防接種予約のオンライン自動受付
- 接種ワクチンのロット管理やワクチン発注支援

業務効率化

医療機関と保護者の連携機能

乳幼児の保護者向け

- 乳幼児の予防接種の自動スケジュールリング、再スケジュールリング
- 予防接種予約
- 予防接種予約日のメール配信

適切なワクチン接種をサポート

アルフレッサ ヘルスケア(株)が(株)茂木薬品商會を完全子会社化

アルフレッサ ヘルスケア株式会社は、2014年10月1日に株式会社マツモトキヨシホールディングスの傘下で一般用医薬品関連商品の卸売販売を事業とする株式会社茂木薬品商會の全株式を取得して完全子会社化いたしました。

株式会社茂木薬品商會の持つ事業資産・ノウハウをアルフレッサグループで活用することで、セルフメディケーション卸売事業のより一層の発展を目指します。

株式会社茂木薬品商會の概要

- 名 称：株式会社茂木薬品商會
- 所 在 地：東京都中央区日本橋本町三丁目11番5号
- 代 表 者：代表取締役社長 茂木 祐典
- 事業内容：一般用医薬品・健康食品・医療機器・ヘルスケア関連商品の卸売販売
- 設 立 日：2014年10月1日
- 資 本 金：10百万円

※旧株式会社茂木薬品商會を会社分割して設立された新設会社

アルフレッサ ファーマ(株)が 新配送センターを建設

アルフレッサ ファーマ株式会社は、岡山製薬工場において、2009年12月に製剤棟を稼働し、さらに2014年1月に医薬品の包装等を行う新棟を稼働させ、医薬品固形剤や体外診断薬等の医薬品の生産能力を高めてまいりました。

現在、生産量の拡大に伴う物流量の増加が課題となっており、その解決に向けて、2015年1月の稼働を目指して、岡山配送センターの建設を開始いたしました。

新配送センターの建設により、現行のセンターの1.7倍まで製品の保管能力を高めて、製造から物

流まで、高品質な製品供給機能のさらなる強化を図ります。



岡山製薬工場 新配送センター完成予想図

アルフレッサ ファーマ(株)が 第一三共プロファーマ(株)秋田工場の譲受けに関する基本合意書を締結

アルフレッサ ファーマ株式会社は、第一三共株式会社との間で、第一三共プロファーマ株式会社の秋田工場を2015年4月に譲り受けることに関する基本合意書を締結いたしました。医薬品原薬を生産する秋田工場の譲り受けにより、アルフレッサ ファーマ株式会社は、自社の岡山製薬工場で製造する医薬品向けの原薬製造拠点として同工場の活用をめざすとともに、原薬の輸入販売事業とのシナジー効果の創出を図ります。

アルフレッサグループにとって初の医薬品原薬製造拠点として、秋田工場の高い技術力と生産能力を有効活用し、高度な品質管理体制のもと安定的な製品供給に努め、さらなる製造事業の規模拡大と収益基盤の強化に取り組んでまいります。

アルフレッサ ファーマ(株)が 体外診断用医薬品「プライムチェック®hMPV」を新発売

2014年8月、アルフレッサ ファーマ株式会社は、ヒトメタニューモウイルス抗原検出のための迅速診断キット「プライムチェック®hMPV」を新発売いたしました。

本製品は、ヒトメタニューモウイルス感染症の診断を補助する迅速診断キットです。ヒトメタニューモウイルス抗原の検出において、検査結果が得られるまでの時間は5～10分程度と短時間で、特殊な設備等が不要なため簡便に使用できます。

今後も付加価値の高い製品の研究開発に取り

組み、多様な医療ニーズに対応できる製品を提供してまいります。



プライムチェック®hMPV

アルフレッサ ファーマ(株)が 抗けいれん剤「ミダフレッサ®静注0.1%」の製造販売承認を取得

アルフレッサ ファーマ株式会社は、2014年9月に抗けいれん剤「ミダフレッサ®静注0.1%」(一般名:ミダゾラム)の製造販売承認を取得いたしました。

本剤は世界で唯一のてんかん重積状態への適応を有した静注用ミダゾラム製剤です。本剤の静注によるてんかん重積状態の患者への効果発現は速やかであるため、救急対応が可能です。また、本剤は静注による初期治療に続き、持続静注を行う

ことによって、長時間にわたる持続的な発作の抑制が可能であり、てんかん重積状態の治療に新たな選択肢を与えるものと期待されています。

※てんかん重積状態…てんかん発作がある程度継続、もしくは短い発作が反復してその間意識の回復がない状態を指します。また、てんかん以外の急性疾患に伴うけいれん重積状態も含みます。

第2四半期(累計)連結財務諸表(概要)

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科 目		前 期 2014年3月31日現在	当第2四半期 2014年9月30日現在
資産の部			
POINT 1	流動資産	947,226	902,009
	現金及び預金	121,025	95,703
	受取手形及び売掛金	604,144	566,088
	有価証券	34,996	61,496
	たな卸資産	130,920	122,162
	その他	56,140	56,557
POINT 2	固定資産	222,320	243,994
	有形固定資産	110,467	116,174
	建物及び構築物	36,475	36,020
	土地	62,780	64,697
	その他	11,211	15,456
	無形固定資産	9,384	8,242
	のれん	3,722	3,151
	その他	5,662	5,090
	投資その他の資産	102,467	119,577
	投資有価証券	87,503	105,232
	その他	14,964	14,345
	資産合計	1,169,546	1,146,003

POINT 1 流動資産

「受取手形及び売掛金」が減少したことなどにより、前期と比べ452億17百万円減少いたしました。

POINT 2 固定資産

「土地」や「投資有価証券」が増加したことなどにより、前期と比べ216億74百万円増加いたしました。

科 目	前 期 2014年3月31日現在	当第2四半期 2014年9月30日現在
負債の部		
流動負債	824,071	779,507
支払手形及び買掛金	799,280	749,222
短期借入金	848	493
その他	23,943	29,791
固定負債	40,039	42,558
長期借入金	636	997
退職給付に係る負債	17,405	16,576
その他	21,997	24,984
負債合計	864,110	822,066
純資産の部		
株主資本	277,321	287,761
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	100,110	103,799
利益剰余金	159,954	166,508
自己株式	△1,196	△999
その他の包括利益累計額	27,911	35,967
その他有価証券評価差額金	32,113	40,170
土地再評価差額金	△4,341	△4,341
為替換算調整勘定	137	107
退職給付に係る調整累計額	2	30
少数株主持分	202	208
純資産合計	305,436	323,937
負債純資産合計	1,169,546	1,146,003

POINT 3

POINT 4

流動負債

POINT 3

「支払手形及び買掛金」が減少したことなどにより、前期と比べ445億64百万円減少いたしました。

株主資本

POINT 4

四半期純利益の計上などにより「利益剰余金」が増加したことなどから、前期と比べ104億39百万円増加いたしました。また、自己資本比率は2.1ポイント上昇し28.2%となりました。

第2四半期(累計)連結財務諸表(概要)

四半期連結損益計算書

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

	科 目	前 第 2 四 半 期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	当 第 2 四 半 期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
POINT 5	売上高	1,221,909	1,173,994
	売上原価	1,142,363	1,096,394
POINT 6	売上総利益	79,546	77,600
POINT 7	販売費及び一般管理費	67,379	68,121
	営業利益	12,166	9,478
	営業外収益	4,868	4,999
	営業外費用	352	259
	経常利益	16,682	14,218
	特別利益	352	133
	特別損失	783	536
	税金等調整前四半期純利益	16,251	13,816
	法人税、住民税及び事業税	4,705	6,735
	法人税等調整額	1,790	△2,128
	法人税等合計	6,495	4,606
	少数株主利益	24	5
	四半期純利益	9,730	9,204

POINT 5 売上高

薬価改定や、後発品への切り替えに伴う長期収載品の減少、消費税率引き上げによる需要の反動減、消費税率引き上げや天候不順による受診抑制などにより、前第2四半期と比べ479億14百万円減少いたしました。

POINT 6 売上総利益

「売上高」の減少などにより、前第2四半期と比べ19億45百万円減少いたしました。売上総利益率は0.1ポイント改善し、6.6%となりました。

POINT 7 販売費及び一般管理費

営業効率化のための投資などにより前第2四半期と比べ7億41百万円増加いたしました。「売上高」の減少などにより売上高販管費比率は0.3ポイント上昇し、5.8%となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

	科 目	前 第 2 四 半 期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	当 第 2 四 半 期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
POINT 8	営業活動によるキャッシュ・フロー	△54,447	15,723
POINT 9	投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,571	△10,659
POINT 10	財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,272	△4,162
	現金及び現金同等物に係る換算差額	43	△17
	現金及び現金同等物の増加(△減少)額	△66,248	884
	現金及び現金同等物の期首残高	195,996	138,819
	現金及び現金同等物の四半期末残高	129,748	139,703

POINT 8 営業活動による キャッシュ・フロー

主に税金等調整前四半期純利益138億16百万円により増加いたしました。売上債権・たな卸資産・仕入債務の運転資本の合計に大きな増減はありませんでした。

POINT 9 投資活動による キャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出87億30百万円、投資有価証券の取得による支出15億25百万円などがありました。

POINT 10 財務活動による キャッシュ・フロー

配当金の支払30億43百万円、リース債務の返済による支出11億18百万円などがありました。

株式情報 (2014年9月30日現在)

株式の概況

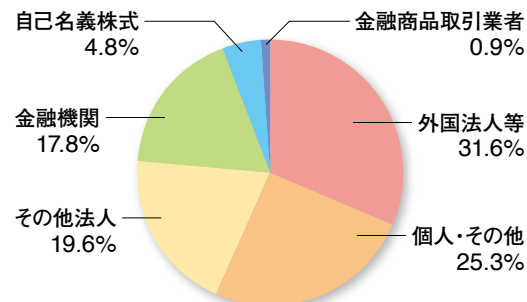
発行可能株式総数	135,000,000株
発行済株式総数	58,754,400株
株主数	10,607名

大株主

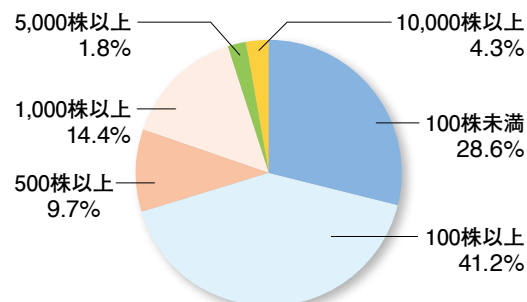
氏名または名称	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
アルフレッサ ホールディングス株式会社	2,835	—
アルフレッサ ホールディングス社員持株会	1,698	3.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,377	2.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,324	2.4
ノーザントラスト カンパニー(エイブイエフシー) アカウント ノントリーティ	1,323	2.4
エーザイ株式会社	1,150	2.1
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	977	1.8
メロン バンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	893	1.6
福神 邦雄	862	1.5
メロン バンク トリーティ クライアント オムニバス	810	1.5

※所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

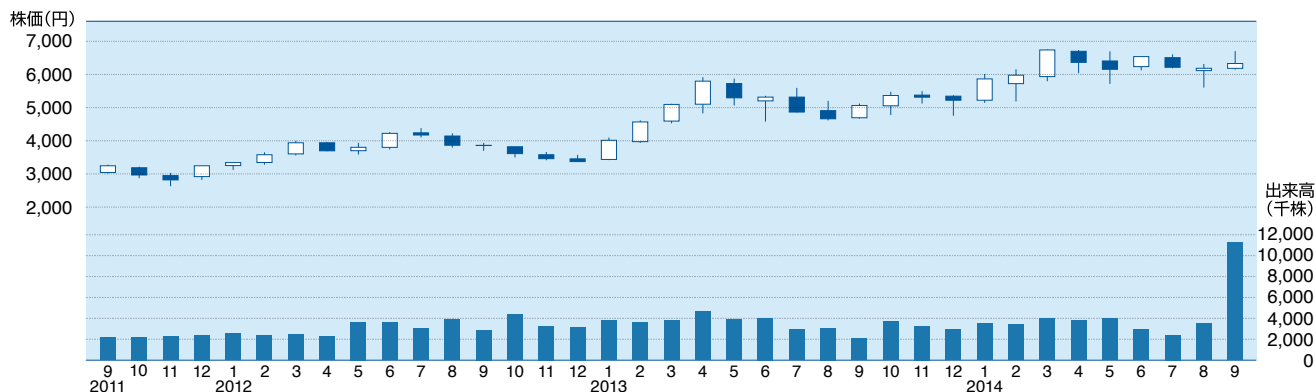
所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



株価・出来高の推移 (東京証券取引所)



※2014年10月1日付にて普通株式1株につき4株の割合の株式分割を実施しております。なお、分割実施前3営業日の株価は、分割前の基準で調整しております。

会社概要 (2014年9月30日現在)

会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
(Alfreda Holdings Corporation)

本社所在地 〒100-0004
東京都千代田区大手町一丁目1番3号

従業員数 11,126名(連結)

設立年月日 2003年9月29日

事業の内容 医薬品、医療用検査試薬、
医療機器・用具等の卸販売および
製造販売並びに輸出入等を行う
子会社の管理等

資本金 18,454百万円

取締役および監査役

取締役 名誉会長

代表取締役社長

代表取締役

代表取締役

取締役

取締役

取締役

取締役

取締役

取締役

取締役(社外取締役)

取締役(社外取締役)

常勤監査役

監査役(社外監査役)

監査役(社外監査役)

監査役(社外監査役)

ふくじん 福神	くに お 邦雄
いしくる 石黒	でんろく 傳六
たまた 滝田	やすお 康雄 (副社長)
かのめ 鹿目	ひろ 広行 (副社長)
たかはし 高橋	ひでとみ 英富 (副社長)
はせ 長谷部	せいさう 省三 (副社長)
しのはら 篠原	つねお 恒夫 (副社長)
くぼ 久保	たいぞう 泰三 (専務執行役員)
みやけ 三宅	しゅんいち 俊一 (専務執行役員)
いづみ 泉	やすし 康樹 (常務執行役員)
しまだ 島田	はるお 晴雄
きむら 木村	かずこ 和子
くわやま 桑山	けんじ 賢治
やまた 山田	のぶよし 信義
のぐち 野口	ゆうじ 祐嗣
かみがき 神垣	せいすい 清水

配当について

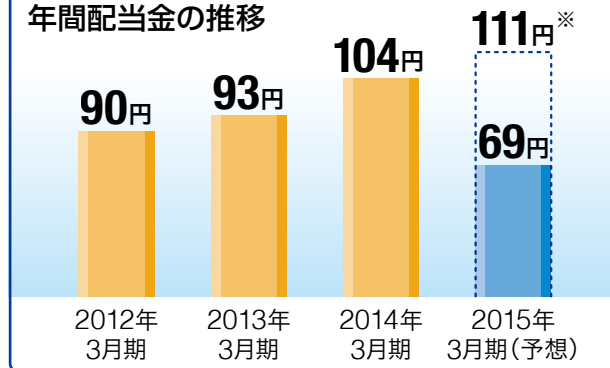
当社の配当につきましては、連結業績を基準に、財務体質の強化や経営基盤の安定性、および将来の事業展開等を総合的に勘案し、純資産配当率(DOE)2%を目途に業績を考慮しながら決定していきたいと考えております。

これらに基づき、2015年3月期は中間配当金を55円といたしました。

また、当社は2014年10月1日付にて普通株式1株につき4株の割合の株式分割を実施いたしました。

株式分割後の配当となる期末配当金は14円を予定しており、年間配当金は合計69円を予定しております。なお、株式分割前の基準で換算した年間配当金は111円となります。

年間配当金の推移



※株式分割前の基準で換算

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	日本経済新聞

株主のみなさまからの声を お待ちしております。

当社では、株主のみなさまからのご意見・ご要望をお受けしております。

ご意見・ご要望がございましたら、お電話やおハガキ、またはeメール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。当報告書に関するご意見もお待ちしております。

アルフレッサ ホールディングス株式会社 財務企画部 広報IR室
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL:03-5219-5102 FAX:03-5219-5103



本誌は、FSC®認証紙と、
植物性インキを使用しています。

株式に関する手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの 各種お手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

■ 単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、1単元（100株）未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

特別口座に記録された株式に関する 各種お手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

■ 特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

未受領の配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

配当金に関するお知らせについて

当社では、郵便ハガキによる「期末配当金に関するお知らせ（中間配当金の支払に関する取締役会決議ご通知）」の送付を廃止いたしました。当社ホームページへの掲載によりご案内しております。

ホームページ <http://www.alfresa.com/>